

平成29年度(2017年度)

管理事業名	病院公債管理事業			総合計画の体系	第3章 健康で安心して暮らせるまちづくり 第6節 健康な暮らしを支えるまちづくり
主な歳出予算科目	病院事業債管理特別会計	(款) 1	貸付金	(項) 1	貸付金 (目) 1 病院事業貸付金
部局名	健康医療部	予算執行所属	地域医療推進室		
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名				
地方独立行政法人市立吹田市民病院貸付事業	(款)公債費(項)公債費(目)元金 元金償還事業(元金) (款)公債費(項)公債費(目)利子 長期債利子償還事業(利子)				
事業の目的と概要 地方独立行政法人法の規定により、地方独立行政法人市立吹田市民病院(以下「市民病院」という。)は、設立団体である本市からしか長期借入ができないことから、今後も市は市民病院の安定的な経営のため貸付を行い、その償還元金及び利子の管理を行う必要があります。					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
病院事業債管理特別会計残高	千円	3,661,386	4,020,689	7,251,006	市民病院に対する貸付金の残高
成果の説明	市民病院への貸付金は、返済計画に基づき、市民病院から元利償還を受けていますが、新病院建設工事費等により貸付金額が増額したことから、その残高も増額しています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	70,112	66,734	66,557	△178
その他	-	-	-	-
経常収入 小計(a)	70,112	66,734	66,557	△178
給与関係費	-	-	-	-
物件費	-	-	-	-
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	-	-	-
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	-	-	-	-
退職手当引当金繰入額	-	-	-	-
支払利息	70,112	66,734	66,557	△178
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	70,112	66,734	66,557	△178
経常収支差額(a)-(b)=(c)	-	-	-	-
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	-	-	-	-
一般財源充当額	-	-	-	-
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	-	-	-	-

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
経常収入 受取利息及び配当金	市は、市民病院への貸付金に係る返済計画に基づき、各年度とも市民病院から返済(平成29年度は66,557千円)を受けており、償還期間終了分が減少しています。
経常費用 支払利息	市は、市民病院への貸付金に係る返済計画に基づき、各年度とも市民病院からの返済額と同額(平成29年度は66,557千円)を借入先に返済しており、償還期間終了分が減少しています。

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	70,112	66,734	66,557	△178
行政サービス活動支出	70,112	66,734	66,557	△178
行政サービス活動収支差額	-	-	-	-
投資活動収入	241,759	223,098	120,383	△102,715
投資活動支出	60,600	582,400	3,350,700	2,768,300
投資活動収支差額	181,159	△359,302	△3,230,317	△2,871,015
財務活動収入	60,600	582,400	3,350,700	2,768,300
財務活動支出	241,759	223,098	120,383	△102,715
財務活動収支差額	△181,159	359,302	3,230,317	2,871,015
収支差額合計	-	-	-	-
一般財源充当額	-	-	-	-
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	行政サービス活動収入	償還利子	66,557千円
	投資活動収入	償還元金	120,383千円
	投資活動支出	貸付金	3,350,700千円

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
	平成27年度		円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	
	平成27年度		円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	120,383	110,625	△9,758
未収金	-	-	-	地方債	120,383	110,625	△9,758
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	-	-	-
短期貸付金	120,383	110,625	△9,758	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産	-	-	-	固定負債	3,900,306	7,140,381	3,240,075
有形固定資産	-	-	-	地方債	3,900,306	7,140,381	3,240,075
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	退職手当引当金	-	-	-
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	4,020,689	7,251,006	3,230,317
固定資産	-	-	-	純資産	-	-	-
インフラ資産	-	-	-	重要物品	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	図書館資料	-	-	-
土地	-	-	-	投資その他の資産	3,900,306	7,140,381	3,240,075
建物・工作物	-	-	-	出資金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	長期貸付金	3,900,306	7,140,381	3,240,075
重要物品	-	-	-	基金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
投資その他の資産	3,900,306	7,140,381	3,240,075	その他債権	-	-	-
出資金	-	-	-	資産の部合計	4,020,689	7,251,006	3,230,317
長期貸付金	3,900,306	7,140,381	3,240,075	負債及び純資産の部合計	4,020,689	7,251,006	3,230,317
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用		非常勤		臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	人	月平均	人	年間従事証日数	実人数	
給与関係費等		千円		千円		千円	0
内、時間外勤務手当	0	千円					

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
短期貸付金	元金に係る償還期限の到来が一年以内の債権で、償還期間終了分があるため減少しています。
長期貸付金	元金に係る償還期限の到来が一年を超える債権で、平成29年度に貸付金(3,350,700千円)があったため増加しています。

▽経常費用の構成割合



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		-	-	-	-

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

病院公債管理事業は、市民病院への貸付及びその償還元金及び利子の管理のみを行っています。そのため、経常費用は、100%が支払利息(地方債償還利子)となっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

市民病院は、北大阪健康医療都市(健都)に平成30年12月に開院を予定しており、同年7月末まで新病院建設工事を実施しています。その建設工事費等については、本市からの貸付金を財源としており、市民病院の安定的な運営を図るためには、設立団体である市が、引き続き市民病院に貸付けを行っていく必要があります。